

Freue dich, erlöste Schar: BWV 30 小林 英夫 訳

<Prima Pars>

<第1部>

1. Chorus

第1曲 合唱

Freue dich, erlöste Schar,
freue dich in Sions Hütten!

喜べ、贖(あがな)われた人々の群よ、
喜べ、シオンの幕屋(神殿、教会)において。

Dein Gedeihen hat itzund
einen rechten festen Grund,
dich mit Wohl zu überschütten.

今やあなたたちの繁栄のために、
正しく確かな基礎が据えられ、
あなたたちを幸福で満ちあふれさせる。

Freue dich, . . .

喜べ . . .

2. Recitativo (Basso)

第2曲 レチタティーヴォ(バス)

Wir haben Rast,
und des Gesetzes Last
ist abgetan.
Nichts soll uns diese Ruhe stören,
die unsre liebe Väter oft
gewünscht, verlangt und gehofft.

私たちは休息を得た、
すなわち、律法の重荷は
取り去られた。
何ものも私たちのこの安らぎを妨げてはならない、
それは私たちの愛する父祖たちがいつも
待ち望み、憧れ、願い求めた安らぎなのだから。

Wohlan, es freue sich, wer immer kann,
und stimme, seinem Gott zu Ehren
ein Loblied an,
und das im höhern Chor,
ja, singt einander vor!

さあ、喜びなさい、誰もかも、できるかぎりに。
神をたたえて奏でなさい、
賛美の歌を。
天上の聖歌隊と声を合わせて、
さあ、互いに歌い交わしなさい。

3. Aria (Basso)

第3曲 アリア(バス)

Gelobet sei Gott, gelobet sein Name,
der treulich gehalten Versprechen und Eid!

神に賛美あれ、その御名に賛美あれ、
神は誠実に約束と誓いを守って下さった。

Sein treuer Diener ist geboren,
der längstens darzu auserkoren,
daß er den Weg dem Herrn bereit'.

神の忠実なしもべが生まれた、
いにしえから選び出され、
主のために道を整えるよう定められた者が。

Gelobet sei . . .

神に賛美あれ . . .

4. Recitativo (Alto)

第4曲 レチタティーヴォ(アルト)

Der Herold kömmt
und meldt den König an,
er ruft; drum säumet nicht,
und macht euch auf
mit einem schnellen Lauf,
eilt dieser Stimme nach!
Sie zeigt den Weg,
sie zeigt das Licht,

先駆けの使者が来て、
王の到来を通告する。
彼は叫ぶ、ぐずぐずするな、
支度にかかれ、
大急ぎで、
この声について来い。
道を示し、
光を示す方がおいでになる、

wodurch wir jene selge Auen
dereinst gewißlich können schauen.

その方を通して私たちはあの聖なる牧場(天国)を
いつかきっと見られるようになるのだ。

5. Aria (Alto)

第5曲 アリア(アルト)

Kommt, ihr angefochtenen Sünder,
eilt und lauft, ihr Adamskinder,
euer Heiland ruft und schreit!

来なさい、誘惑の罠に落ちた罪びとたちよ、
急ぎ、走りなさい、アダムの子供たちよ、
あなたたちの救い主が呼びかけておられる。

Kommet, ihr verirrtten Schafe,
stehet auf vom Sündenschlafe,
denn itzt ist die Gnadenzeit!

来なさい、道に迷った羊たちよ、
罪の眠りから起き上がりなさい、
今や恵みの時が来たのだから。

Kommt, ihr angefochtenen . . .

来なさい、誘惑の . . .

6. Choral

第6曲 コラール(合唱)

Eine Stimme läßt sich hören
in der Wüsten weit und breit,
alle Menschen zu bekehren:
Macht dem Herrn den Weg bereit,
machtet Gott ein ebne Bahn,
alle Welt soll heben an,
alle Täler zu erhöhen,
daß die Berge niedrig stehen.

ひとつの音が響き渡る、
広く遥かに、荒野のいたるところまで、
すべての人に悔い改めを促すために。
主のために道を備えよ、
神のために広い道を整えよ。
全世界の人々は心を高く上げよ、
すべての谷は高められ、
すべての山は低くされるのだから。

<Secunda pars>

<第2部>

7. Recitativo (Basso)

第7曲 レチタティーヴォ(バス)

So bist du denn, mein Heil, bedacht,
den Bund, den du gemacht
mit unsern Vätern, treu zu halten
und in Genaden über uns zu walten;
drum will ich mich mit allem Fleiß
dahin bestreben,
dir, treuer Gott, auf dein Geheiß
in Heiligkeit und Gottesfurcht zu leben.

私の救い(神)よ、あなたは思い起こされた、
あの約束を、かつてあなたが
私たちの父祖たちと交わり、忠実に守るならば、
恵み深く私たちを保護すると約束されたことを。
それゆえ私は精一杯に
力を尽くして努めよう、
あなたに、誠実な神よ、あなたの仰せに従って、
神を尊び、敬虔な心で生きるように。

8. Aria (Basso)

第8曲 アリア(バス)

Ich will nun hassen
und alles lassen,
was dir, mein Gott, zuwider ist.

今や私は憎み、
すべてを捨て去ろう、
私の神よ、あなたに反するすべてのものを。

Ich will dich nicht betrüben,
hingegen herzlich lieben,
weil du mir so genädig bist.

私はあなたを悲しませたくない、
むしろ心から愛したい、
あなたが私にとても恵み深くして下さったので。

Ich will . . .

今や私は . . .

9. Recitativo (Soprano)

Und ob wohl sonst der Unbestand
den schwachen Menschen ist verwandt,
so sei hiermit doch zugesagt:
So oft die Morgenröte tagt,
so lang ein Tag den andern folgen läßt,
so lange will ich steif und fest,
mein Gott, durch deinen Geist
dir ganz und gar zu Ehren leben.
Dich soll sowohl mein Herz als Mund
nach dem mit dir gemachten Bund
mit wohlverdientem Lob erheben.

10. Aria (Soprano)

Eilt, ihr Stunden, kommt herbei,
bringt mich bald in jene Auen!

Ich will mit der heiligen Schar
meinem Gott ein' Dankaltar
in den Hütten Kedar bauen,
bis ich ewig dankbar sei.

Eilt, . . .

11. Recitativo (Tenore)

Geduld, der angenehme Tag
kann nicht mehr weit und lange sein,
da du von aller Plag
der Unvollkommenheit der Erden,
die dich, mein Herz, gefangen hält,
vollkommen wirst befreit werden.

Der Wunsch trifft endlich ein,
da du mit den erlösten Seelen
in der Vollkommenheit
von diesem Tod des Leibes bist befreit;
da wird dich keine Not mehr quälen.

12. Chorus

Freue dich, geheiligte Schar,
freue dich in Sions Auen!

Deiner Freude Herrlichkeit,
deiner Selbstzufriedenheit
wird die Zeit kein Ende schauen.

Freue dich, . . .

第9曲 レチタティーヴォ(ソプラノ)

他の何よりも心変わりが、
弱い人間にはありがちのことだから、
こうしてしっかり約束しておきましょう。
朝焼けが夜明けを告げるたびに、
一日が次の日に続く限り(生きている限り)、
いつまでも、私はきっと必ず、
私の神よ、あなたの霊の導くままに、
あなたを余すところなくたたえて生きましょう。
私は心の思いと口の言葉とを一致させて、
あなたと交わした約束に従って、
あなたにふさわしい賛美を捧げましょう。

第10曲 アリア(ソプラノ)

急いで、時よ、こちらへおいで、
私をすぐに、あの牧場に連れていっておくれ。

私は聖なる人々の群とともに、
私の神のために感謝の祭壇を、
ケダルの幕屋(天国)に築き上げ、
永遠に感謝し続けましょう。

急いで、 . . .

第11曲 レチタティーヴォ(テノール)

もうしばらくの辛抱だ。喜びの日の到来は
もうさほど遙か遠くのことではない。
その日、あなたはすべての重荷から、
地上の不完全さが、
私の心よ、あなたを捕えているこの重荷から
完全に解放されることになるのだ。

望みはついにその終着点に到達し、
そこであなたは贖われた魂たちとともに、
完全さの中で
肉体の死から解き放たれる。
そこにはもはやあなたを苦しめるものは何もない。

第12曲 合唱

喜べ、聖なる者とされた人々の群よ、
喜べ、シオンの牧場(天国)において。

あなたの喜びは栄光に輝き、
あなたの心を満たす平和は
終わりのない時を見るようになる。

喜べ、 . . .

使用楽譜:新全集版相当、ライセンスによるリプリント版(フル・スコア)。

アルフレート・デュルの著書に記載されたカンタータ歌詞との間に、大文字使用、句読点レベルを除き、第9曲 ob wohl/obwohl、の相違がある。

また、当該演奏会の対訳作成用に提供された Breitkopf J.S.B.I.30(ヴォーカル・スコア。ドイツ語のほか、英語歌詞付き)との間に、大文字使用、句読点レベルを除き、第1曲 itzund/jetzund、第2曲 liebe/lieben、第4曲 kömmt/kommt、selge/selgen、第5曲 itzt/jetzt、第9曲 ob wohl/obwohl、den schwachen/dem schwachen、so oft/sooft、so lang/solang、第11曲 trifft/tritt、の相違がある。

日本語表題:《喜べ、贖われし群よ》(杉山系)、【喜べ、救われし群れよ】(角倉系)。

洗礼者ヨハネの祝日(Fest Johannes des Täufers)。初演 1738～9年頃の当該祝日、ライプツィヒ。53～4歳。台本作者(詩人):推定では、ピカンダーPicander、本名 Christian Friedrich Henrici 1700-64。

聖書朗読箇所:ルカ福音書 1章 57-80節。副次的朗読箇所:イザヤ書 40章 1-5節。

コラール:第6曲 "Tröstet, tröstet, meine Leben" 3/4 Johann Olearius 1671;

(Melodie "Freu dich sehr, o meine Seele": 15 Jahrh. / Loys Bourgeois 1551 / Johann Hermann Schein 1627) EKG319M。